

令和2年度 病害虫防除技術情報 第2号

令和2年6月1日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

トビイロウンカの防除対策の徹底について

昨年、県内各地でトビイロウンカによる坪枯れが多発し、甚大な被害となりました。本年産水稻については、育苗施用の薬剤に長期残効性のトリフルメゾピリムを「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」に掲載し、令和2年産の稲作暦にも多く採用されています。今後、箱苗施薬を行う場合は以下の点に注意し、本虫に対する防除を徹底願います。

- 【作物名】 水稻
【病害虫名】 トビイロウンカ

- 1 育苗施薬 長期残効性のトリフルメゾピリムを含有する薬剤を推奨する（表1）。

表1 トリフルメゾピリムを含有する登録農薬

商品名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
防人箱粒剤	50g/箱	は種時（覆土前） ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する
スクラム箱粒剤				
フルスロットル箱粒剤				
ビルダーフェルテラゼクサロン粒剤				
アンコール箱粒剤				
サンスパイク箱粒剤		移植3日前 ～移植当日		

※大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針より抜粋

- 2 使用量 1箱当たりの使用量 50g を確実に散布する。使用量が少ないと効果は期待できない。
- 3 情報収集 トビイロウンカは海外飛来性害虫で、飛来時期や飛来数には年次変動があるので、当農業研究部が発表する病害虫発生予察情報を参考にするとともに、ほ場における本種の発生状況に注意する。
- 4 防除上の注意事項

- (1) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。

ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/oita>

